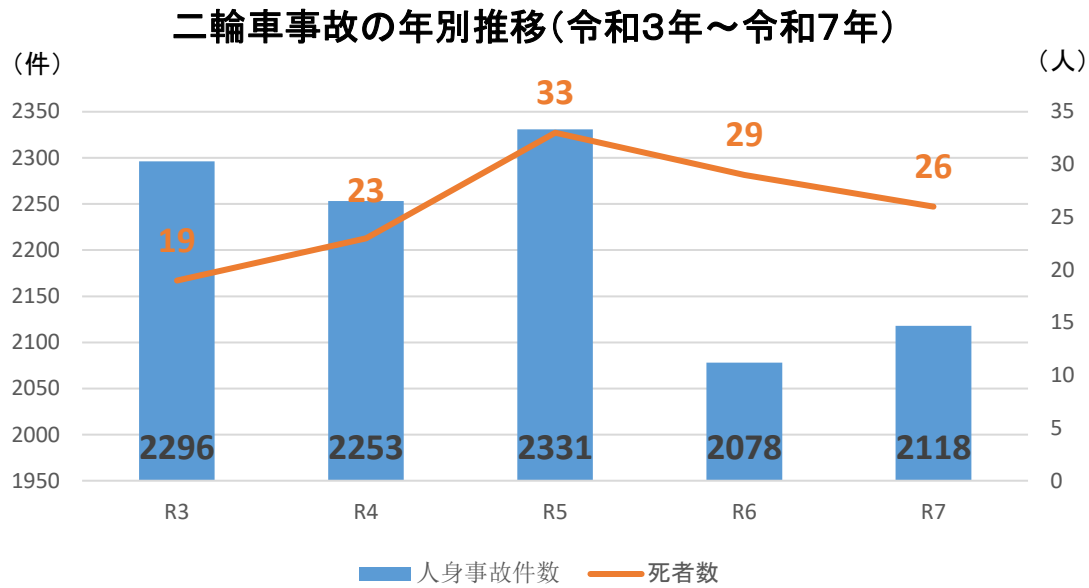


二輪車事故の発生傾向①～年別推移・月別発生状況～



- ◆ 二輪車人身事故件数は令和5年をピークに減少傾向である。
- ◆ 死者数も令和5年をピークに減少傾向である。
- ◆ 月別の死者数は5月が最多であり、人身事故件数は12月が最多である。

【令和7年中】

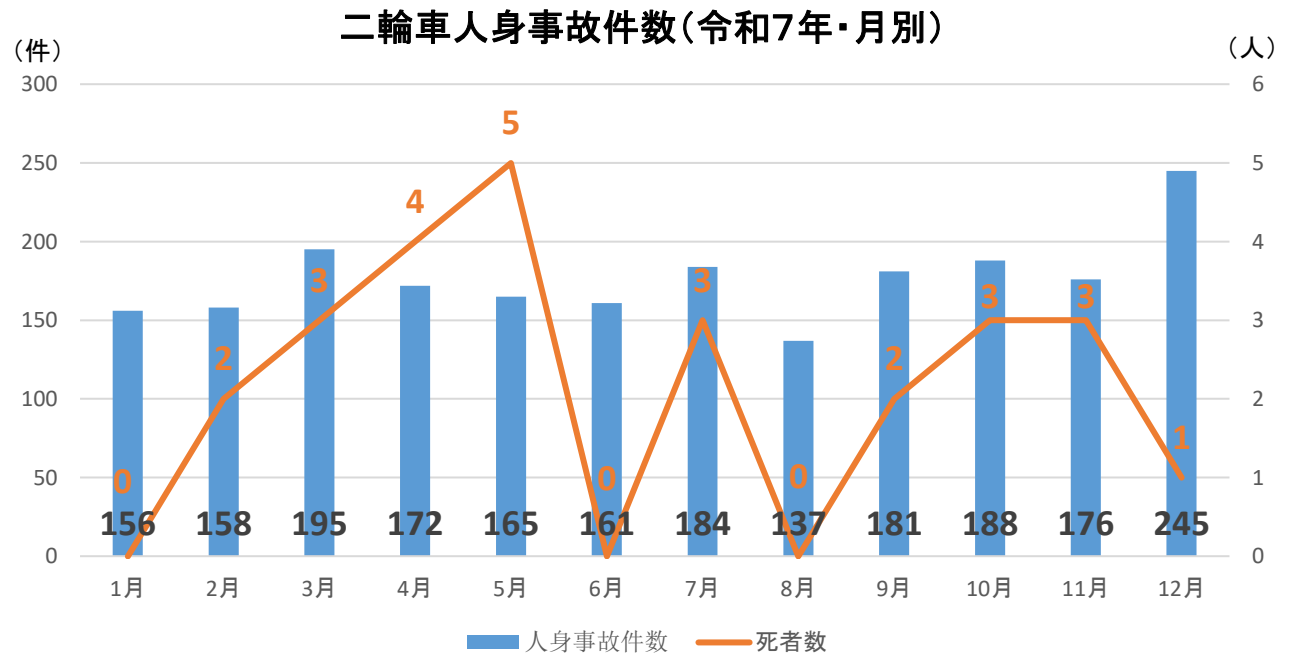
◆ **人身事故件数 2118件 (前年比 +40)**

※人身事故件数は、第1当事者または第2当事者が二輪車の事故件数

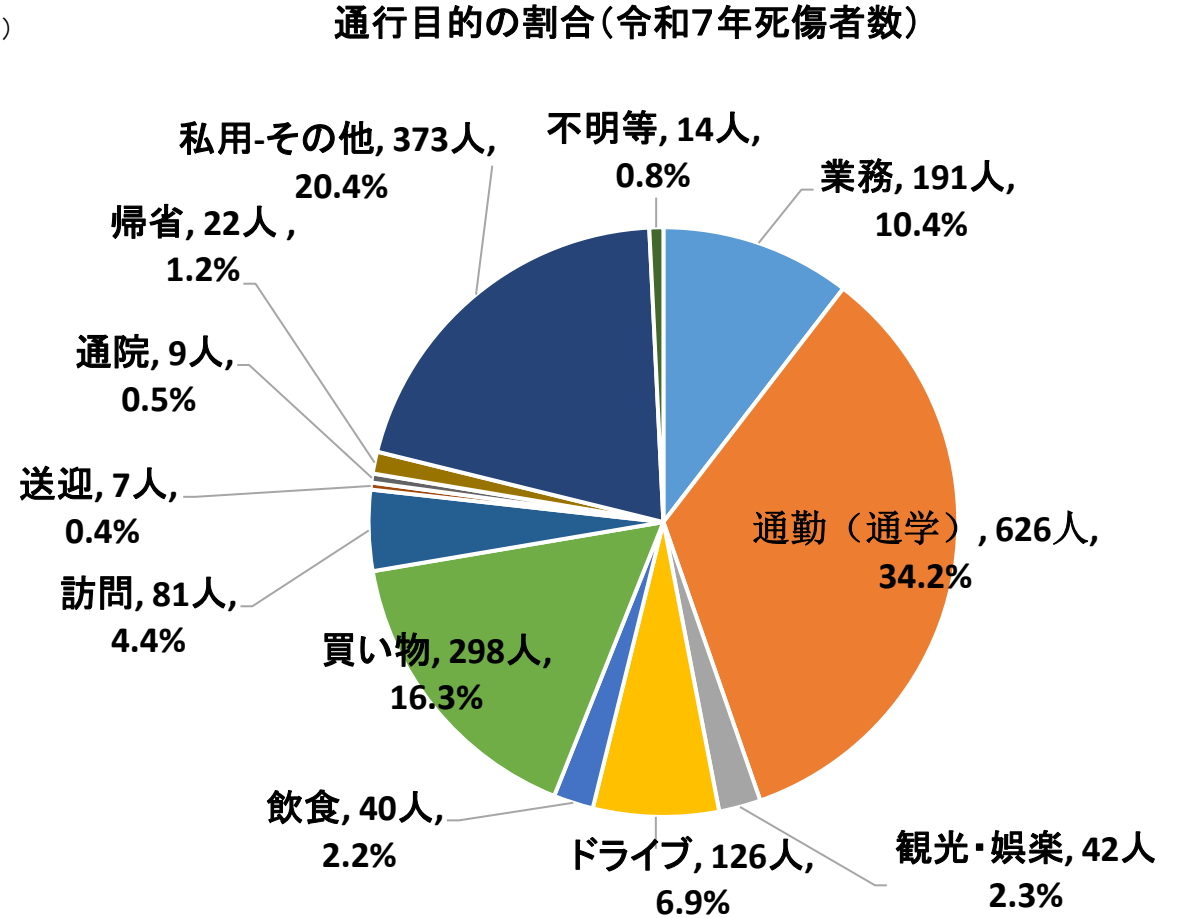
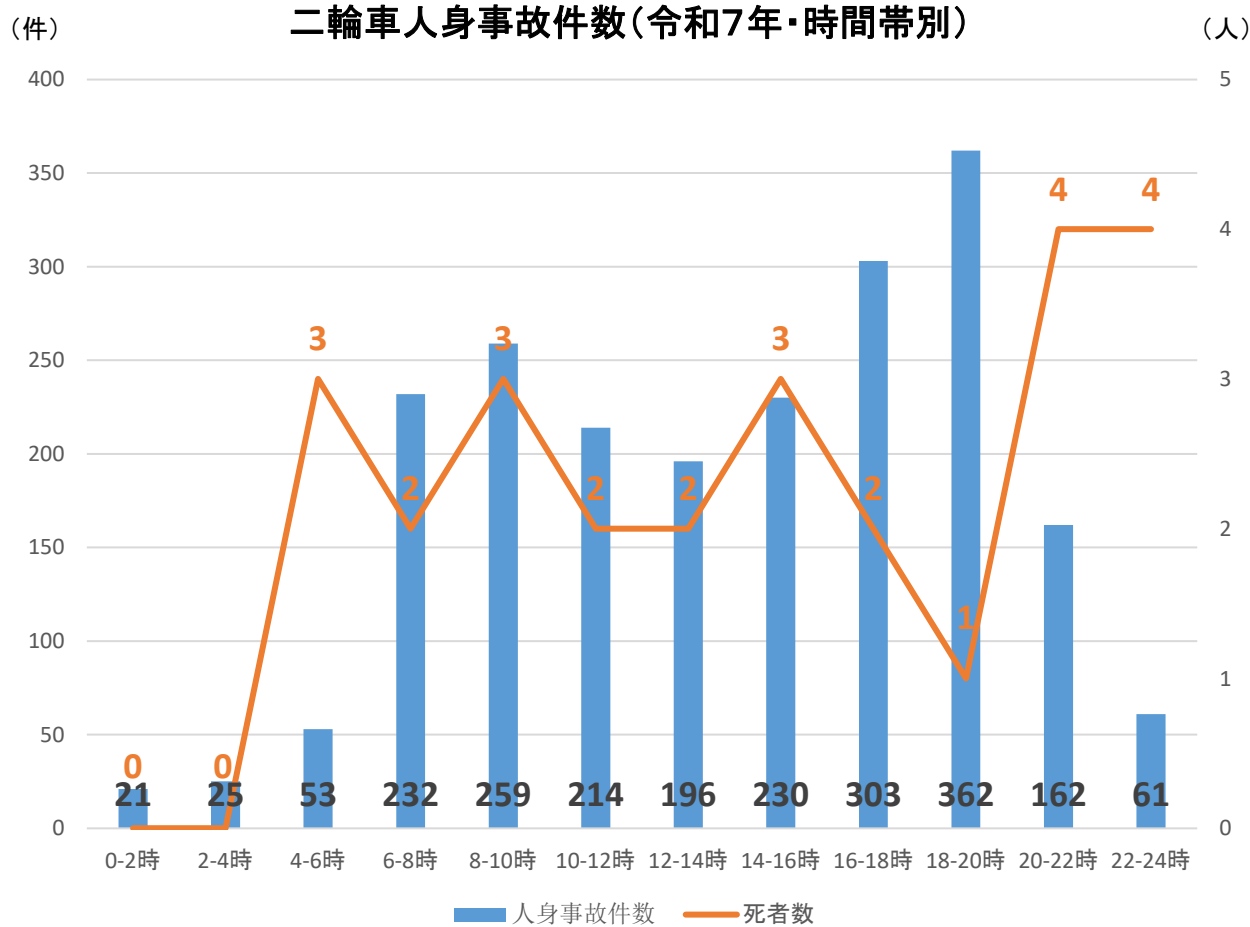
◆ **死者数 26人 (前年比 -3)**

◆ **負傷者数 1803人 (前年比 +44)**

※死者・負傷者数は、二輪車乗車中の死者数、負傷者数

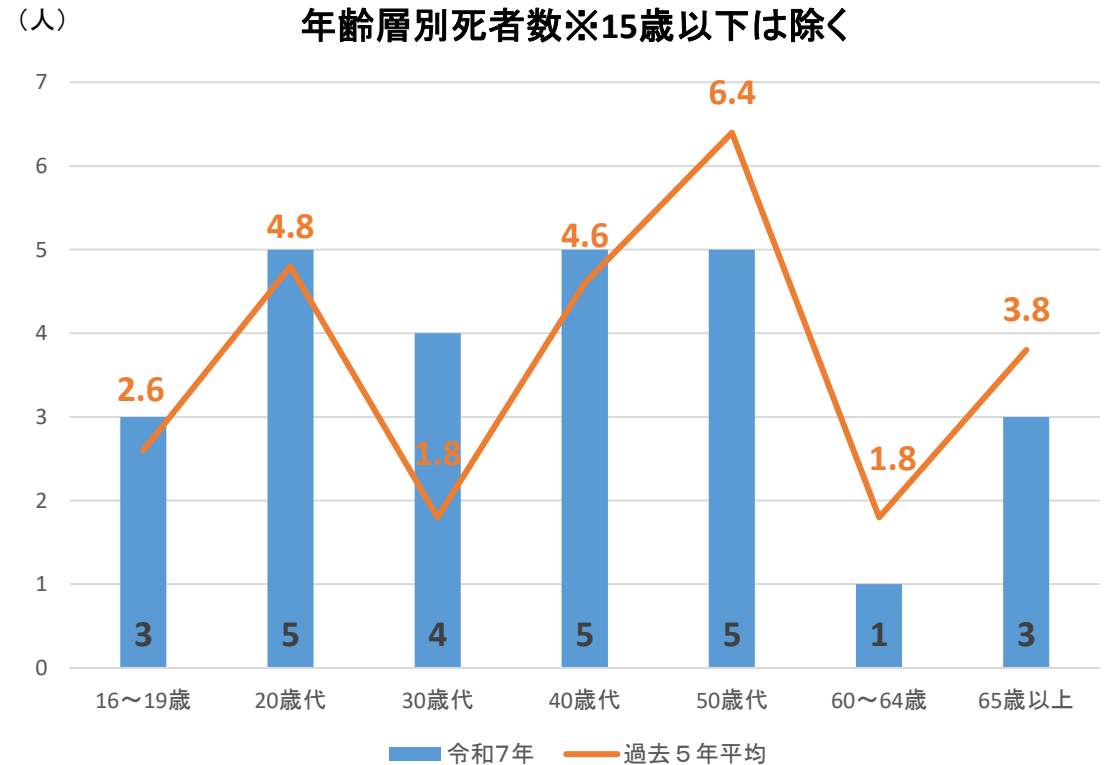
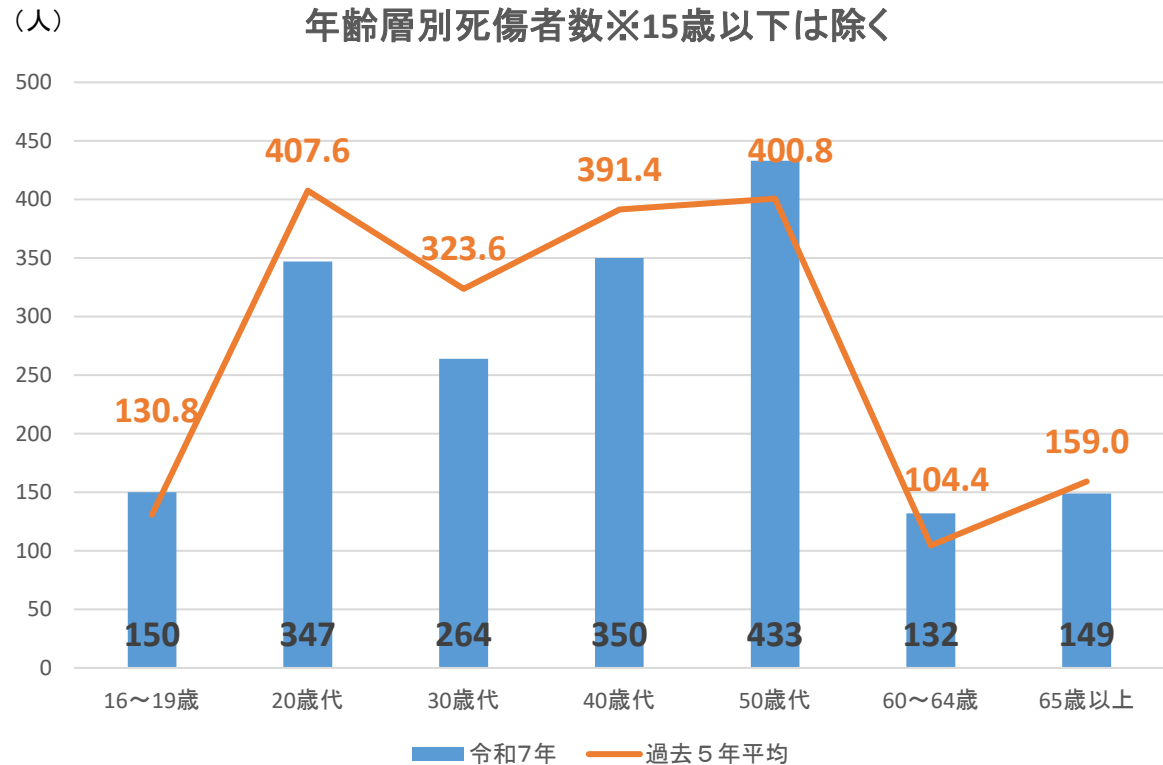


二輪車事故の発生傾向②～時間帯別・通行目的の特徴～



- ◆ 時間帯別の死者数は20時から24時が最多であり、人身事故件数は18時から20時が最多である。
- ◆ 通行目的別の死傷者は通勤(通学)が最多である。

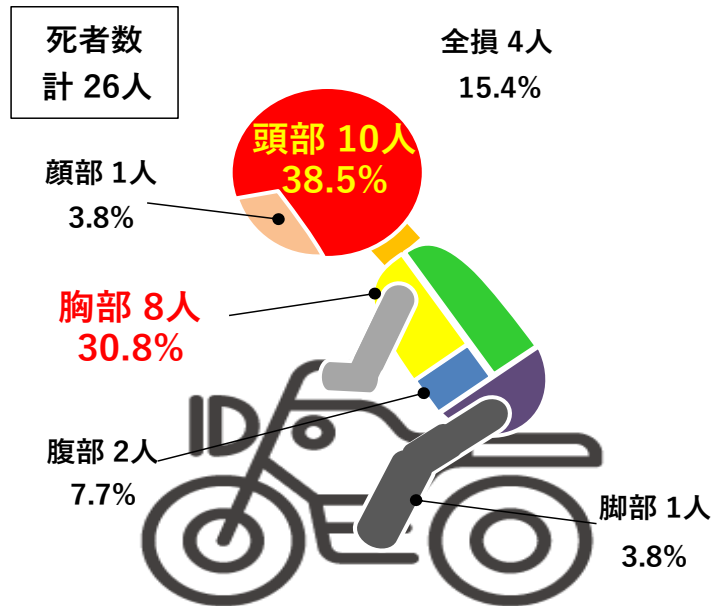
二輪車事故の発生傾向③～年齢層別死傷者・死者の状況～



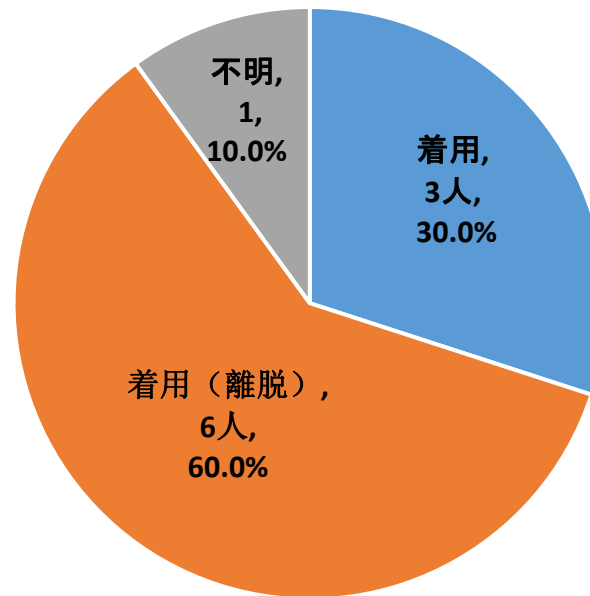
- ◆ 死傷者数では、過去5年平均と比較し、50～64歳が多い。
- ◆ 死者数では、過去5年平均と比較し、30～40歳代が多い。

二輪車事故の発生傾向④～死者の損傷主部位の特徴～

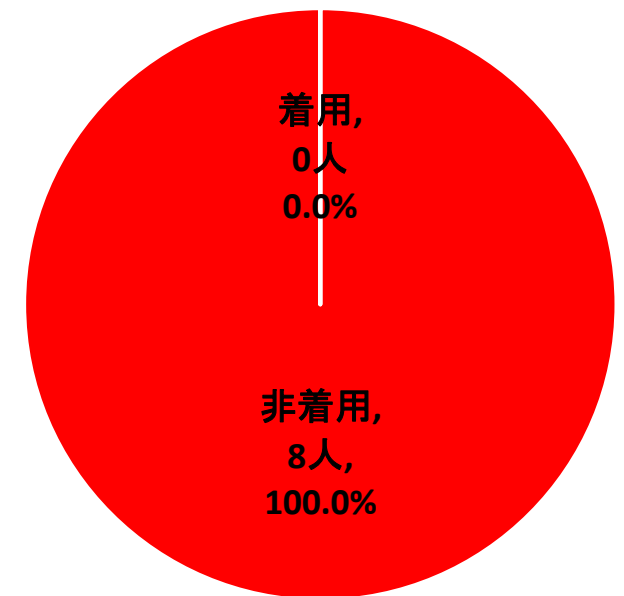
死者の損傷主部位



頭部が損傷主部位の死者のヘルメット着用状況

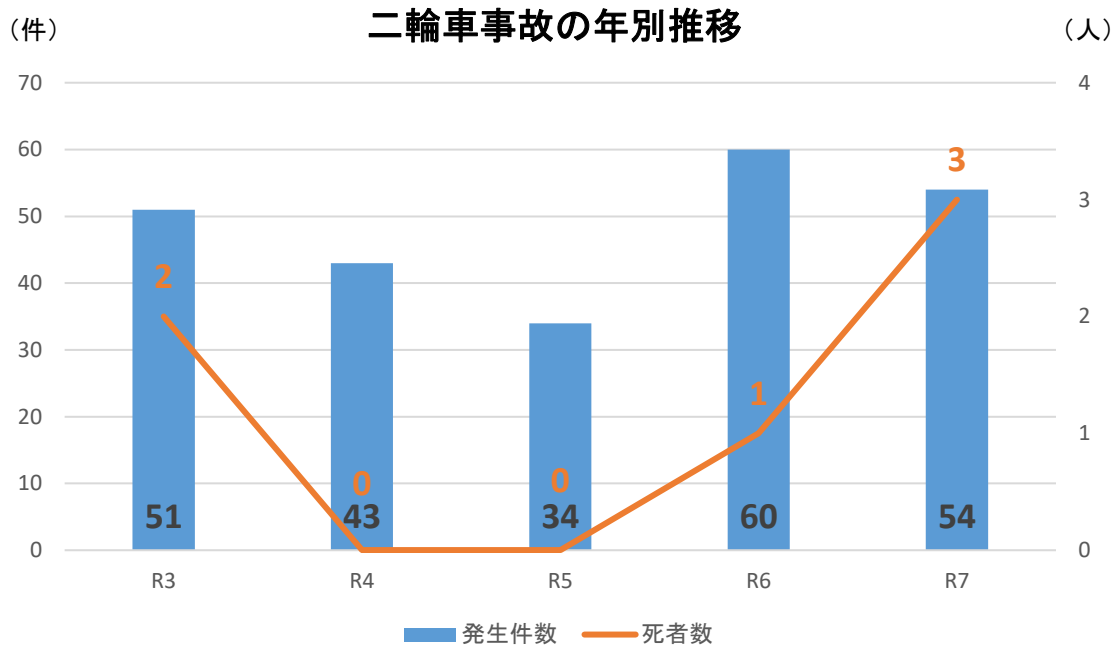


胸部が損傷主部位の死者の胸部プロテクター着用状況

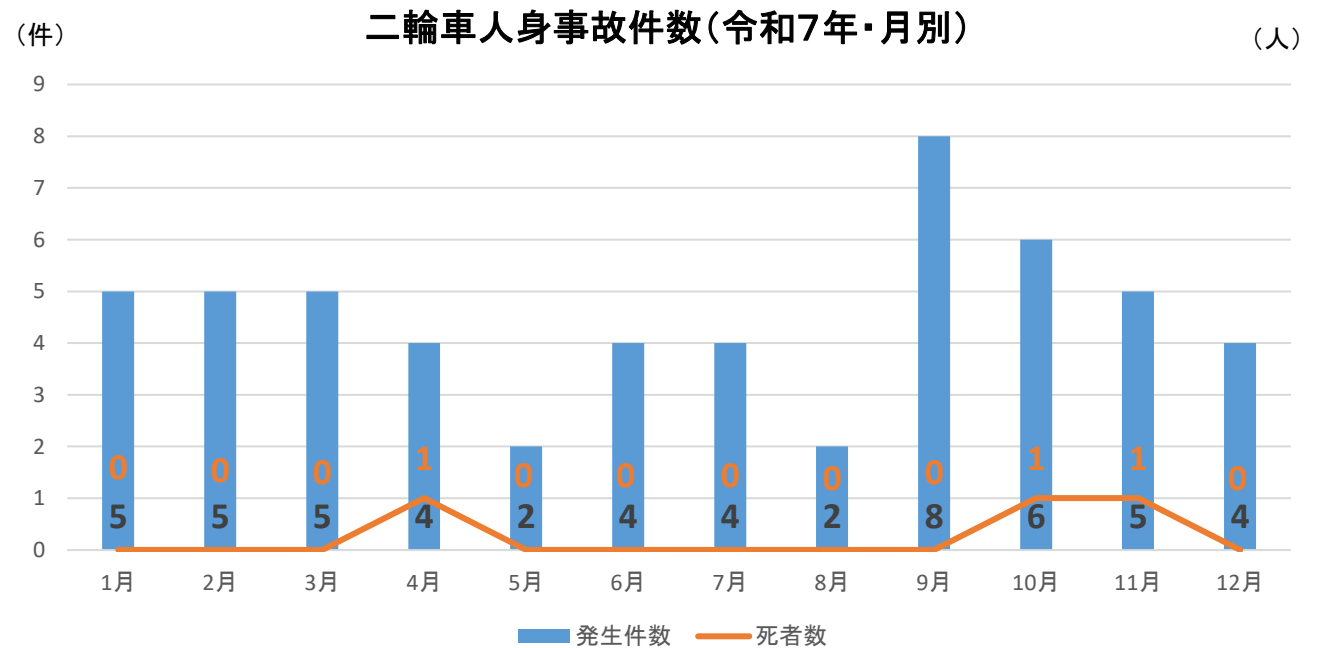


- ◆ 死者の損傷主部位は頭部と胸部で約7割を占める。
- ◆ 頭部が損傷主部位の死者のヘルメット着用状況は9割であるが、離脱が多い。
- ◆ 胸部が損傷主部位の死者の胸部プロテクターの着用状況は皆無であった。

【参考】～高校生二輪車乗車中死傷者（年別推移及び令和7年の月別発生状況）～



- ◆ 人身事故件数は前年より減少した。
- ◆ 死者は**増加**。
- ◆ 月別の人身事故件数は9月、10月の発生が多い。



【令和7年】

- ◆ **人身事故件数 54件**（前年比**-6件**）
※人身事故件数は、第1当事者または第2当事者が二輪車の事故件数
- ◆ **死者数 3人**（前年比**+2人**）
- ◆ **負傷者数 43人**（前年比**-3人**）
※死者・負傷者数は、二輪車乗車中の死者数、負傷者数